

法親寺新聞

こんにちは。釋 紗音です。

お寺や神社などに一生懸命お参りに行く方を「信心深い人」と言いますが、この一般的に使われる「信心」は字の通り、信じる心であり「神仏のご加護を信じて願ひ、祈ること（ネット調べ）」です。
 では、浄土真宗の「信心」はどうでしょうか？
 親鸞聖人は信心についてこうおっしゃいました。

如来よりたまわたりたる信心
本願力回向の信心

本願とは阿弥陀様のお慈悲の心であり、一切の衆生を救ってくださるはたらきです。こちらから出向いて行かなくても、常に太陽の光の様に私達を平等に照らしてくださいます。

しかし、こちらから日陰に入ったリ、扉を閉めてしまつては光を遮ってしまいます。

それが「疑心」ということです。

この新聞でもいつも書かせていただいている「お念仏は阿弥陀様への感謝」という文章に理解するのが難しいなあと思われている方もいらっしゃるかもしれません。

阿弥陀様の方から「あなたを必ず仏にしますよ」と願ひをかけてくださっているのです。こちらは「ありがとうございます。阿弥陀様に任せます（南無阿弥陀仏）」と疑わず、素直に受け取るだけで充分です。信心は自分の力で手に入れるものではなく、既にいただいているのです。

「自分は信心があるのだろうか」「まだ信心が足りないのではないだろうか」「あの人は仏様になれたのだろうか」と心配したり、理解する為に頭を悩ませる必要はありません。

浄土真宗がお聴聞を大々にするのは、阿弥陀様が何故私達に願ひをかけてくださったのかを聞いていくことが大々だからです。

まだまだ安心出来ない世の中ですが、ご法座にも是非足を運んでください。

法親寺 報恩講法要
 1月10日(月)午後1時～



新型コロナウイルスのオミクロン株が猛威を振るっており、法要の開催が危ぶまれましたが、多くの方にお参りいただきました。親鸞聖人が阿弥陀様のお念仏の教えにあられた喜びを偲にされた正信偈を皆でお勤めし、法話を聴聞いただきました。

西本願寺御正忌報恩講
 大谷本廟お参り。納骨
 1月13日(木)



昨年は新型コロナウイルスの影響で中止しましたので、2年ぶりの本山御正忌報恩講のご縁でした。また、念仏奉仕団も中止になりましたので、大谷本廟の仏間をお借りして、無量壽堂納骨法要を行いました。通夜布教も締め、日帰りぞのお参りでした(笑)



救いとは...?

人間の根本的な悩みは、誰もがいつかは死んでいかなければならない命であり、その後、どこに行くかさえ分からないことでしょう。煩惱から抜け出せず、このままだと地獄行き身であるのは確かです。しかし阿弥陀様はそんな「私」の為に想像もできない程長い間の修行の末、願ひを完成させてくださいました。

そして「南無阿弥陀仏」のお名号として届けてくださっています。本願力に満たされている私達は、衆生に居る今から浄土に往生して仏様にならせていただくことが決定しています。それが蓮如上人が御文章でおっしゃっている「往生の一大事の解決」です。

阿弥陀様から信心をいただき、安心して毎日を歩めることが浄土真宗のご利益ですね。

2022年 春彼岸号
 手書き新聞 No.48



記念すべき!!!
 阿弥陀様の願ひの救い、四十八願ですね♡



住職の法話

私は二月に64才になりました。最近肩や腰の痛みも感じるようになり、夜更かしや少し無理をすると疲れやすくなりました。

人には肉体と心があり、それぞれに喜びと限界があるという現実が身に沁みて感じられます。「生きる」ということは苦の連続で、その中に老いの苦しみがあるということは頭では分っていました。その立場にならないと分からないのです。

「若い時は良かったなあ、徹夜しても平気だった」

「20代、30代、いや40代でもいいから、返りたい」

そんなことを考えていた時、ふと昔聞いた二人のご門徒の会話を思い出しました。

70歳のご門徒「年を取ったなあ」 90歳のご門徒「若いお、まだまだ、これからや」

90歳の方にとって、70歳は「まだまだ、これから」なのです。

私たちが凡夫は自己中心でしか、ものごとを見る事ができません。

そんな人の心と違い、阿弥陀さまのお心を大慈悲心と言います。

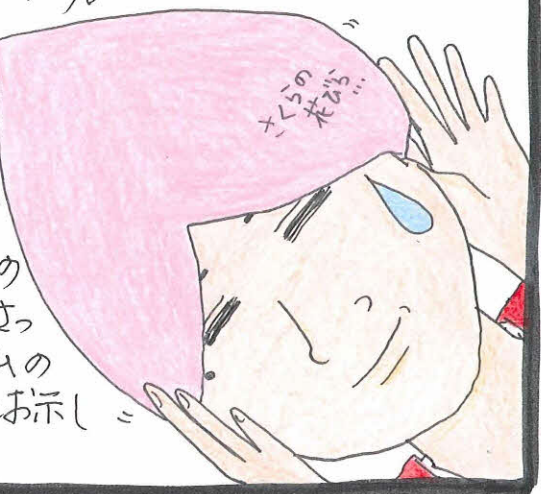
『仏説観無量壽經』に「仏心とは大慈悲(だいじ)なり。無縁の慈をもつてもろもろの衆生を摂(せつ)したまふ」とあります。

「無縁の慈」とは阿弥陀さまの分け隔てのない慈悲のお心のことです。

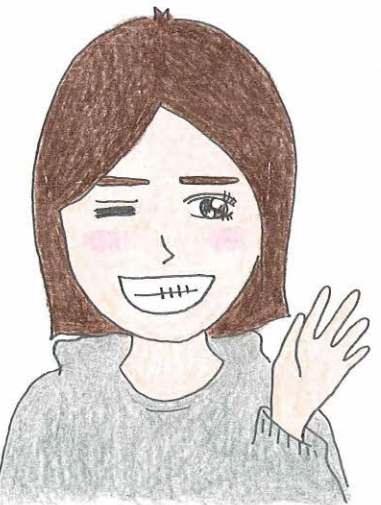
すべての人々に分け隔てなく慈しむ無縁(縁の有無に関係ない)の慈悲のお心で、苦しみにある私を何とかしたいとはたきかけてくださっています。

その阿弥陀さまの願ひ(み教え)を聞き、南無阿弥陀仏のみ名を称えること(念仏)を親鸞聖人は「大行(だいぎやう)」とお示し

くださいました。お念仏いたしましょう。



こんにちは。釋里蓮です☆
 甘い牛乳が好きです！でも...
 炭水化物の友かもっと好きです！
 とこで皆様のお家の冷凍庫にお正月のお餅がまだ眠っていませんか？今回は、お餅で作れるアレンジレシピをご紹介します♪
 ちよと力はあるけど、美味しいのでぜひ、作ってみてください(笑)



1月10日食べちゃう バター餅

＜作り方＞

① 耐熱容器に凍ったままの餅を入れ、水大さじ3を加えてレンジで3～4分、柔らかくなるまで温める。

② 餅が柔らかくなったら☆を全て加え、木ベラでよく混ぜる。途中、固くて混ぜにくい場合は少し水も足し、レンジで30秒程、温める。

③ まんべんなく混ぜたら卵黄を入れて混ぜる。全体が黄色になったら、片栗粉を加えて、さらによく混ぜる。

④ ムラがなくなったら、打ち粉をしたまな板などに乗せ、形を整える。

⑤ 少し冷めて、切りやすい固さになったら、包丁で好みの大きさに切る。



＜材料＞
 ・冷凍した餅(生でもOK)
 (大餅小...5個)か(切り餅3個)
 ☆バター...10g ☆砂糖...大3
 ☆塩...小1/2 ・卵黄...1
 片栗粉(混ぜる用)...大1

⑥ 切った断面にも片栗粉をまぶし、出来上がり♡



乾燥しないように保存容器などに入れ、早めに召しあがってください。

ポイント

水気がなくなると混ぜにくい時は、水かお湯を少し足して捏ねてください(笑)。



里蓮のオススメの一品♡
 辛い物が大好きな方に!!
 <赤から鍋スープ>
 岡山にも3店舗ある有名店の味をお家で楽しむことができます(笑)

お知らせ

春季永代経法座

●日時 ●令和4年4月24日(日)午後1時～

●場所 ●法親寺 本堂

●講師 ●住職

お車で越しの際は、隣接新設臨時駐車場をご利用下さい。

マスクの着用とアルコール消毒にご協力下さい!!

もう春なん？
 釋里蓮